

# 「東北復興社内マルシェ」開催

～被災地支援活動～

>>>2013.11.21

株式会社アルビオン(東京・中央区、代表取締役社長・小林章一)は、11月12～14日、東日本大震災の被災地支援活動として社員による「東北復興社内マルシェ」を開催いたしました。

アルビオンでは2011年3月の震災発生当初より、現地団体との情報交換を通じてその時々求められる支援の形を模索し、活動を続けてまいりました。

震災から3年目を迎えた今年は、人と人の“つながり”や経済活性化をテーマに、一歩進んだ復興支援を検討し、「東北復興社内マルシェ」と題した社員向けの販売会を開催いたしました。東北の“美味しい”“美しい”名産品を紹介するとともに、力強く進む復興の息吹を社内に広め、社員が一丸となり経済支援の「環(わ)」をつないでいくことを目的といたしました。

商品は、ボランティアスタッフの社員が実際に宮城県石巻市にて現地の方との交流を通じて買い付けたもの。現地の方々の熱い想いが込められた一品一品を復興のストーリーと共に紹介し、それらの名産品を通じて様々な人や絆、想いを多くの社員と共有できた3日間となりました。

マルシェでの募金等は全て被災地域へ寄附いたします。

アルビオンでは引き続き状況に応じた被災地支援を継続して行なってまいります。



ディスプレイや販売も全て社員の手で



小林社長もハッピを着用し販売応援に